

算数科年間指導計画(シラバス)

第2学年

広島市立草津小学校

学習目標

- (1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方についての理解を深めるとともに、加法及び減法についての意味を深め、用いることができるようにする。また、乗法の意味を理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) 具体物を用いた活動などを通して、長さの単位や測定について理解できるようにし、量の大きさについての感覚を豊かにする。
- (3) 具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を一層重ね、図形についての感覚を豊かにする。

授業の工夫

児童が算数の学習は、「楽しいもの」という実感をもつことができるような授業を心がけていきたいと思ひます。そのために、具体的な操作の活動や身近な問題を多くとり入れて、授業を進めていきます。また、繰り返し練習することにより、基礎的な計算技能を身につけさせていきたいと思ひます。

年間授業計画

| 月 | 単元名 | 評価の観点 | |
|--------------|--|---|---|
| 4 | ジャンケンゲーム 1 ひょうとグラフ まとあてゲーム | 【算数への関心・意欲・態度】 数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもとうとするとともに、知識や技能などを進んで用いようとする。 【数学的な考え方】 算数的活動を通して、数理的な処理に親しむ。 【数量や図形についての表現・処理】 整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、もの大きさを測定したり、ものの形を観察したり構成したりする。 【数量や図形についての知識・理解】 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方、整数の計算の意味及び量の単位と測定の意味を理解し、図形についての理解の基礎となる経験を重ねている。 | |
| 5 | 2 1000までの数 どちらが大きいかな 計算のしかたをかんがえよう | | |
| 6 | 3 たし算のひっ算 計算の問題をつくろう 計算のしかたを考えよう | | |
| 7 | 4 ひき算のひっ算 むしくい算 5 いろいろな形 | | |
| 9 | 6 にんぎょうげき 7 とけい 7 たし算とひき算 | | |
| 10 | 8 長さ(1) 線でもようづくり | | 評価の方法 単元ごとのテストや学習プリントを中心に、ノートや学習態度・発表などの学習の様子から総合的に評価します。 |
| 11 | 9 かけ算(1) かけ算のしきであらわそう | | |
| 12 | 10 かけ算(2) ならった九九をつかって | | |
| 1 | 11 かけ算(3) 12 かけ算(4) 九九もようづくり 九九を見つけよう | | |
| 2 | 13 長さ(2) 長いものさし | | |
| 3 | 14 1000より大きい数 大きさをくらべゲーム | | |
| | 15 三角形と四角形 | | |
| | 16 たし算とひき算(2) | | |
| | 17 2年のまとめ | | |
| 年間授業時数 155時間 | | | |